

同仁だより

No.127 2025年 6月号

〒112-0015 文京区目白台3-10-9

TEL: 03-3943-1879

同仁キリスト教会 同仁美登里学園

同仁美登里幼稚園 同仁美登里保育園

E-mail DSyadan@doujin-midori.ed.jp(教会、社団) info@doujin-midori.ed.jp(幼稚園、保育園) 発行者 北山正裕

主の憎まれるもの

学校法人同仁キリスト教けやき学園

理事長 石橋克己

旧約聖書の『箴言』は、「イスラエルの王、ダビデの子、ソロモンの箴言」という言葉で始まる。人が神に従う道を踏み外さないようにとソロモンが記したとされている。31の章からなるこの書物は、長い人生で悩みや苦しみに遭った時に、自分を顧みる助けとなり指針となる。6章の16節から19節にはこう書かれている。「主の憎まれるものが六つある。心からいとわれるものが七つある。驕り高ぶる目、うそをつく舌、罪もない人の血を流す手、悪だくみを耕す心、悪事へと急いで走る足、欺いて発言する者、うそをつく証人、兄弟の間にいさかいを起こさせる者」。いくつかは私にも当てはまりそうだ。罪人である自分にも「主の憎まれるもの、いとわれるもの」がいくつもあったかもしれないと思う。その

ような人間が人を批判することはイエス様もたしなめておられるが、それを承知で言いたくなることもある。アブラハムの神を信じるという人たちが、パレスチナやウクライナでしていることや、それに手を貸していることは、ここに書かれていることそのものではないか。キリスト教、ユダヤ教、イスラム教、皆アブラハムの神から生まれたのではないのか。一方の手で聖書をひもとき、他方の手で「主の憎まれるもの」を行う。罪には軽重がある。箴言に言う六つ乃至七つのことは重い罪(capital sins)と言われている。自らはユダヤ教徒あるいはキリスト教徒と公言しながら、重い罪を犯し続けることをどう捉えているのだろうか。信仰を持つには覚悟がある。覚悟があるということとは罪を犯さないということでもある。その覚悟なしに軽々しく信仰を口にしてはならない。熱い鉄も時が経てば自然に冷えるが信仰が冷えるには理由がある。信仰が冷える時に人は何を欲するだろう。自分にはないものやもっと欲しいものだ。信仰を忘れた心には名誉欲、権力欲、物欲が居座る。

イスラエルやロシア、また米国の戦争指導者たちは、なによりも求めるべき神の義をないがしろにしつつ、神を信じていると公言している。これほどの罪はない。神はアブラハムにカナンの土地を与えた。イスラエルは神から賜った土地だからユダヤ人だけのものだと言う。そうだろうか。どのユダヤ人のことか。「主の憎むもの」を行いつつ、土地はイスラエルのものだと言う。イスラエルだけではない、米國もロシアの大統領もキリスト教徒だと言いつつ、「主の憎むもの」を行って憎むもの」を行ってゐる。そしてそれをしてとする国民がいる。皆自分に都合のよいつまみ食いをしてゐるだけで、本当に主に従うという信仰があるのか。これは人を裁くことだと自覚しながらも、そのように思わざるを得ないほどの罪が行われている。国際政治は理念だけでは済まない。信仰を持つ者が

全員義とされる訳でもない。それでも神を都合よく持ち出すことは信仰者として受け入れがたく、「主の憎まれるもの」という箴言の重さに拘りたい。

今年も沢山の新しい園児が同仁に集っている。この子どもたちが神様のことを知り、その未来が、私たちの大切にする神様の愛で包まれ続けるようにと、また戦場で苦しむ人々には真の平和が訪れるようにと心から願う。



●動物の引く荷車に乗ってガザ北部から避難するパレスチナ人

「愛」があるゆえに

コリントの信徒への手紙一

13章1～13節

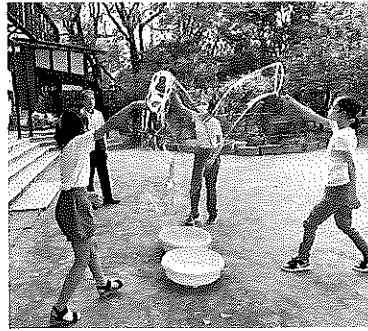
同仁キリスト教会 牧師 小林 恵

車のあおり運転、SNSの炎上、～ハラ問題…。日々物議をかもしている社会トラブルです。いつの時代も人間社会は怒り、悲しみ、恐れでいっぱいです。

とは言え、怒りや悲しみ、恐れによって心が傷つき、苦しんで不安なままでは、人間が平和に安心して過ごしていくことはできません。それゆえ、感情を抱く人間の心には、強さが必要です。

その強さ、とは、愛です。人間世界からトラブルがなくなることはないでしょう。けれども、日々の挨拶から始まる人間の関わりの中に、相手を気遣い、心にかけて、いたわり、配慮する愛の心があれば、トラブルは解決へと向かっていくのだらうと思います。

何事においても、愛がなければ無に等しいと、聖書の御言葉は語っています。ゆえに、もしそこに愛があれば、人間世界のあらゆる事がらはすべて、益となります。神がこの世界に与えられた「愛(=キリスト)」があるゆえに、怒り、悲しみ、恐れさえも、生きる喜びへと変えられていくからです。



●夏期恒例の大玉シャボン玉づくり

この日、聖書朗読は高校生、献金の当番は小学生。幼児、小学生、中学生、高校生、大人の人たちが声を合わせて主の祈りをささげ、

5月11日は「母の日」を覚えて礼拝をささげました。小林恵牧師は、「みなさんのお母さん、お父さんは、みなさんのことが大好きです、また、神さまもみなさんのことが大好きですよ」と日々親に大事に育てられ守られているのと同じように、神さまもそうして守ってくださっていることを話しました。



●4月20日、子どもの教会イースター礼拝

教会

子どもの教会の礼拝で

1週間の始まりを



さんびかを歌いました。

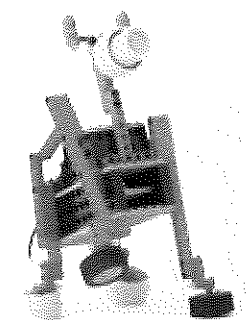
礼拝の後は分級で、お母さんへの感謝のプレゼントづくりをしました。

日曜日の朝、教会では年齢の違う子どもとおとなが一緒に集って礼拝をすることから新しい1週間が始まります。

学園

楽しみながら学ぶ

ロボット教室



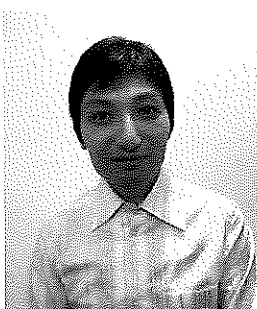
人の息子さんがいて毎年教会のクリスマスには一家でキャンドルライトサービスに出席されています。

新しい令和世代を担う子ども達のために「ロボット教室」では、科学に興味があり実験や物作りが好きな子どもがプログラミングの基礎を学びながら月2回、ロボット作りを楽しんでいます。

講師の中村仁光夢先生は、長年三石メソッドで幼児教育に携わった他、子どもの関心や、発達、目標に合わせて小学生から中学、高校生までの幅広い年齢層に合わせた指導をしてこられました。

子どもの頃2歳上の姉と一緒に

同仁キリスト教会の子どもの教会によく来ていました。その頃から好奇心旺盛で、いろいろなことに興味をもち、じっとしていない元気な子どもでした。現在、二



●中村仁光夢先生

教室移動のお知らせ

5月より

●ロボット教室は

3Cへ

●そろばん教室は

3Aへ

●英語・木曜クラスは

2Aへ

変わりましたのでよろしく
お願いいたします。



幼稚園

「ともに」 歩んでいける幼稚園

同仁美登里幼稚園 園長 安心院敏子

新たに五十二名の新入園児を迎え今年度が始まりました。

幼稚園生活は毎日が未知の世界。嬉しいこと、楽しいこと、悲しいことや悔しいこともあるでしょう。そのすべてが一人ひとりの心も、友だちとのかかわりも育ててくれる大切な経験です。「すぐに」や「とりあえず」でなく時をとらえて、自分のありのままをしっかりと表し、友だちや教師を信頼し、お子さんが心から安心して過ごせる場所となるように、その時々、そして、みんな同じで

ない一つひとつの心に寄り添っていけるよう、教師一同、力を尽して参ります。

今年度は「ともに」と主題を与えられました。漢字の「共に」は一緒にという意味合いが強く、ひらがなの「ともに」は、違うことを同時にするという意味も生じるそうです。神様が一緒にいてくださるという意味と、違った人や違ったことでも、お互いに認め合ったり、励まし合ったりしながら、歩んでいきたいという意味が込められた年主題です。一人ひと



●昨秋に子どもたちが植えたチューリップ



●池に落ちる桜の花びら

りのありのままを大切にしながらも互いに響き合って、子どもたちにはもちろん、保護者の方も教師も「ともに」歩んでいける美登里幼稚園にぴったりの主題と感謝して受けとめました。「ともに」の温かさのなかに一人ひとりの育ちがありますようにと願い過ごしていきたいと思います。

今年度も、ひつじの会、ぶどうの会（同窓会）、地域の方々のお力添えをいただきながら美登里幼稚園らしく教育活動を重ねていけることに感謝いたします。

保育園

ようこそ同仁美登里保育園へ

同仁美登里保育園 園長 堀 万美

2025年4月1日入園進級のつどいが礼拝堂で行われました。

今年度ご入園0歳児たね組10名進級1歳児ふたば組10名2歳児つばみ組ご入園5名進級9名合計34名のスタートです。

小林牧師先生の礼拝の後、進級のつばみ組さん親子で作ったちょうちのプレゼントと手あそびを楽しみ、嬉しいひとときとなりました。

翌日からたね組は親子での慣れ保育が始まりました。

お部屋の好きなコーナーで過ごしながら、担任はお家の様子を聞き、一人ひとりの生活リズムを大切にしていきます。家庭とは違い初めての集団の中



●たね組 おうちの方とお祈り



●一緒に遊ぶことで「成長」していく

での戸惑いも大きい子どもたちです。

「このとき」を丁寧に保育する事で安心に繋がっていく、子どもたちとの愛着形成を築いていきます。讚美歌やお祈りも泣いていても、ふとまなざしをこちらに向け、心が通い合うときです。ちょう満開の桜もテラスからお庭からも見え春の心地よさを感じられました。

子どもたちは、一人ひとり大切なかけがえのない存在です。子どもたちが全身で表わすありのままを捉え、あそびの中でしっかりと一人ひとりの興味関心を丁寧に紐解いていき、神さまに守られ一緒に歩んでいきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

2015年5月、第1回目を開催してから10年、ハーピストの清水梨紗さんが妹の彩華さんと友人、知人のハーブ演奏者の協力を得て毎月1回開催してきたアフタヌーンコンサートは、午後1時から30分間のミニコンサートで、入場は無料、出演者はすべてボランティアである。

ハーブの他に、フルート、ヴィオラ、ヴァイオリンなどの洋楽器、尺八、琴、篠笛などの和楽器、歌、朗読などのコラボもあり、毎回趣向が凝らされたプログラムで観客を楽しませ感動させてくれた。

ハーブは幅広い音域をもち、特に中音域は最もハーブらしく豊かなサウンド、透明感のある美しい音色に特徴があると言われている。ハーブの音色に癒しの効果



●運営。企画をする清水梨紗さん

10年目になったアフタヌーンコンサート
心をいやす美しいひびきに
やすらぎと感動、笑顔が：



●0才からのファミリーコンサート 2022.8.29

があると言われるのは優雅で穏やかなため、心身をリラックスさせる効果があり、疲れている人、ストレスを感じている人、緊張している人に癒しを与えてくれると言われている。

この4月、近くの高齢者住宅から職員に付き添われ車いすに乗って参加する人の姿が目立ち、かつて教会前に東京大学分院があり入院患者さんに聴いていたのだと語りつづけていた清水さんはその跡地からの来場者に喜んでいる。

毎回コンサート後の「アンケート」の返答には、「春の季節に合っ

掲★示★板

◆6月◆

- 4日(水) がん哲学外来
「丘の上のカフェ・シャローム」
6日(金) 幼稚園 花の日礼拝
8日(日) 教会
9:30より 花の日・こどもの日礼拝
11:00より ペンテコステ礼拝
30日(月) アフタヌーンコンサート(ハーブ)

◆7月◆

- 2日(水) がん哲学外来
「丘の上のカフェ・シャローム」
13日(日) 学園 デュエットコンサート(ピアノ部)
16日(水) 幼稚園 1学期終業日
24日(木) アフタヌーンコンサート(ハーブ)

◆8月◆

- 3日(日)～31日(日) 子どもの教会お休み
6日(水) がん哲学外来
「丘の上のカフェ・シャローム」
10日(日)～16日(土) 同仁社団夏期休業

た選曲で景色を思い浮かべながら聴き、心が安らぎました」「優雅で迫力も感じ友人にも聴かせたいと思いました。」「悩んでいたこともしばし忘れてリラックスできました」中には『野雲雀やハーブに合わせて天翔る』という俳句もありました。

6月は30日(月)のアフタヌーン



●観客が50余名と多かった日 2025.4.4



●和楽器(尺八・箏)とハーブ・コントラバスの共演 2024.1.22

ンコンサートはハーブとフルートとヴァイオリンです。

コンサート情報

6月

★7日(土) 午後2時45分

ボイスレインボウ

★8日(日) 午後3時半

サマーコンサート

★14日(土) 午後2時半

六月の音楽会

デュオサリエリ

★21日(土) 午後2時半

「ピアノ・ヴァイオリン発表会」

★21日(土) 午後2時半

ミュージズたちの競演

★21日(土) 午後6時半

オペラと室内楽の夕べ

★28日(土) 午後3時半

アンサンブルミラージュ

★28日(土) 午後3時半

第3回室内楽公演

★5日(土) 午後4時

4人のハーピストによる

★12日(土) 午後5時

アコースティックギター

★12日(土) 午後5時

ソロコンサート

★13日(土) 午後5時

東京ブロックフレイテ

★19日(土) 午後2時

アンサンブル公演

★19日(土) 午後2時

杉田ピアノ教室発表会

いずれも同仁キリスト教会礼拝堂にて